

エコアクション21 環境経営レポート

2019年度（期間 2019/4～2020/3）



エコライン株式会社

発行日 2020年8月31日

目次

1.組織の概要	1 ~ 4
2.環境管理実施体制	5
3.環境経営方針	6
4.環境目標	7
5.環境活動計画	8
6.環境目標の実績	9 ~ 11
7.環境活動取り組み結果と評価	12
8.環境関連法規等の遵守状況	13
9.代表者による全体評価と見直し	14
10.環境活動状況(取り組み事例)	15 ~ 16
11.環境活動計画(次年度)	17 ~ 18

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

エコライン株式会社

代表取締役 藤本 剛

(2) 所在地及び事業内容

本 社 静岡県静岡市駿河区南八幡町25番25号

本 店 静岡県静岡市葵区鷹匠1丁目1番1号

※ 本店は、登記簿記載上の所在地であり、実際の事業活動は行っていません。

設立年月日 2003年1月16日

資 本 金 4,000万円

事 業 年 度 4月～3月

事 業 内 容 建設業(建物解体工事の請負など)

産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬及び処分

廃食油のバイオディーゼル燃料化

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責 任 者 総務部長 杉山 充

担 当 者 環境管理事務局 総務部 池端 小夜子

連 絡 先 TEL 054-289-6650 FAX 054-289-6616

ホームページ :<http://www.eco-line.jp>

◆事業規模

(1) 事業規模(本社及び中間処理場)

項目	2017年度	2018年度	2019年度
売上高(百万円)	859	906	727
従業員数(人)	25	23	23
敷地面積(m ²)	1,331.41	1,331.41	1,331.41

(2) (本 社)

項目	2017年度	2018年度	2019年度
売上高(百万円)	684	715	540
従業員数(人)	16	14	14
敷地面積(m ²)	195.13	195.13	195.13

(3) (中間処理場・BDF工場)

項目	2017年度	2018年度	2019年度
売上高(百万円)	175	191	187
従業員数(人)	9	9	9
敷地面積(m ²)	1,136.28	1,136.28	1,136.28

(4) (受託した産業廃棄物の処理量)

項目	種類	処分方法	処分量(t)
収集運搬	一般廃棄物		0.03
	産業廃棄物		3,544.74
	特別管理廃棄物		0.00
中間処理		破 砕	1,217.56
		圧 縮	67.71
		溶 融 固 化	57.63

(4) (BDF工場)

項目	数量(kg)	項目	数量(kg)
廃油購入	138,950 kg	廃油売却	138,950 kg
廃油(BDF原料)	0 kg	BDF生産量	0 kg
		グリセリン生産量(売却)	0 kg

(5) 重機・車両台数

車 種	台 数
キャブオーバー	3
脱着コンテナ	2
2tダンプ	2
バックホウ	2
フォークリフト	2
営業車(普通車)	12
営業車(軽自動車)	2

◆許可・登録内容

(1) 建設業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区物・建設業の区分
静岡県知事 許可(特-24)	第32383号	2018年2月14日 2023年2月13日	(特定建設業) 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

(2) 産業廃棄物収集運搬業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区物・産業廃棄物類の種類
静岡県	第02201103973号	2018年6月26日 2023年6月25日	(積替え、保管を除く) 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、汚泥(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 以上10品目
東京都	第13-00-103973号	2017年8月27日 2022年8月26日	(積替え、保管を除く) 汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) (水銀使用製品産業廃棄物を含む) 以上10種類
愛知県	第02300103973号	2018年7月13日 2023年7月12日	(積替え、保管を除く) 汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃油、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上10品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)
神奈川県	第01405103973号	2017年9月4日 2022年9月3日	(積替え、保管を除く) 汚泥、廃油、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上10品目

(3) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区物・産業廃棄物類の種類
静岡県	第02251103973号	2016年4月17日 2021年4月16日	(積替え、保管を除く) 引火性廃油、特定有害廃石綿等 以上2品目
愛知県	第02350103973号	2018年7月13日 2023年7月12日	(積替え、保管を除く) 引火性廃油、特定有害廃石綿等 以上2品目
京都府	第02650103973号	2016年5月15日 2021年5月14日	(積替え、保管を除く) 廃石綿等 以上1品目
東京都	第13-54-103973号	2016年7月24日 2021年7月23日	(積替え、保管を除く) 廃石綿等 以上1品目
神奈川県	第01455103973号	2016年9月25日 2021年9月24日	(積替え、保管を除く) 廃石綿等 以上1品目

(4) 産業廃棄物処分業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区物・産業廃棄物類の種類
静岡県	第02222103973号	2015年9月30日 2020年9月29日	(中間処分) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 7品目

(5) 施設等の状況

- ① 中間処理 静岡県焼津市八楠字中ノ坪113番1
- ② 積み替え保管施設 …… 無し
- ③ 施設の種類の種類

破砕 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	廃プラスチック類	4.40 t/日 (8.0時間)
	金属くず	4.96 t/日 (8.0時間)
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	4.80 t/日 (8.0時間)
	がれき類	4.88 t/日 (8.0時間)
	紙くず	4.16 t/日 (8.0時間)
	木くず	4.48 t/日 (8.0時間)
繊維くず	4.24 t/日 (8.0時間)	

圧縮 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	廃プラスチック類	0.28 t/日 (8.0時間)
	金属くず	2.56 t/日 (8.0時間)
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	1.06 t/日 (8.0時間)
がれき類	1.16 t/日 (8.0時間)	

破砕 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	ガラス・コンクリート陶磁器(廃石膏ボード)	3.52 t/日 (8.0時間)
紙くず(廃石膏ボード)	0.39 t/日 (8.0時間)	

溶融 固化 施設	産業廃棄物の種類	処理能力
	廃プラスチック類	0.17 t/日 (8.0時間)

(6) 一般廃棄物(ごみ)処理業許可

地域	許可番号	許可年月日 有効年月日	事業の区物・産業廃棄物類の種類
焼津市	第54-6号	2020年4月1日 2022年3月31日	(収集・運搬) 一般廃棄物(生ごみ以外の可燃物)
牧之原市	第29-2号	2019年5月15日 2021年5月14日	(収集・運搬) 一般廃棄物 木くず、紙くず(感染性で無いものに限る)、ビン、缶、ペットボトル、小動物等の死骸
吉田町	第28-8号	2018年12月24日 2020年12月23日	(収集・運搬) 事業系一般廃棄物 (し尿及び浄化槽汚泥又は感染性でないものに限る)

環境管理実施体制

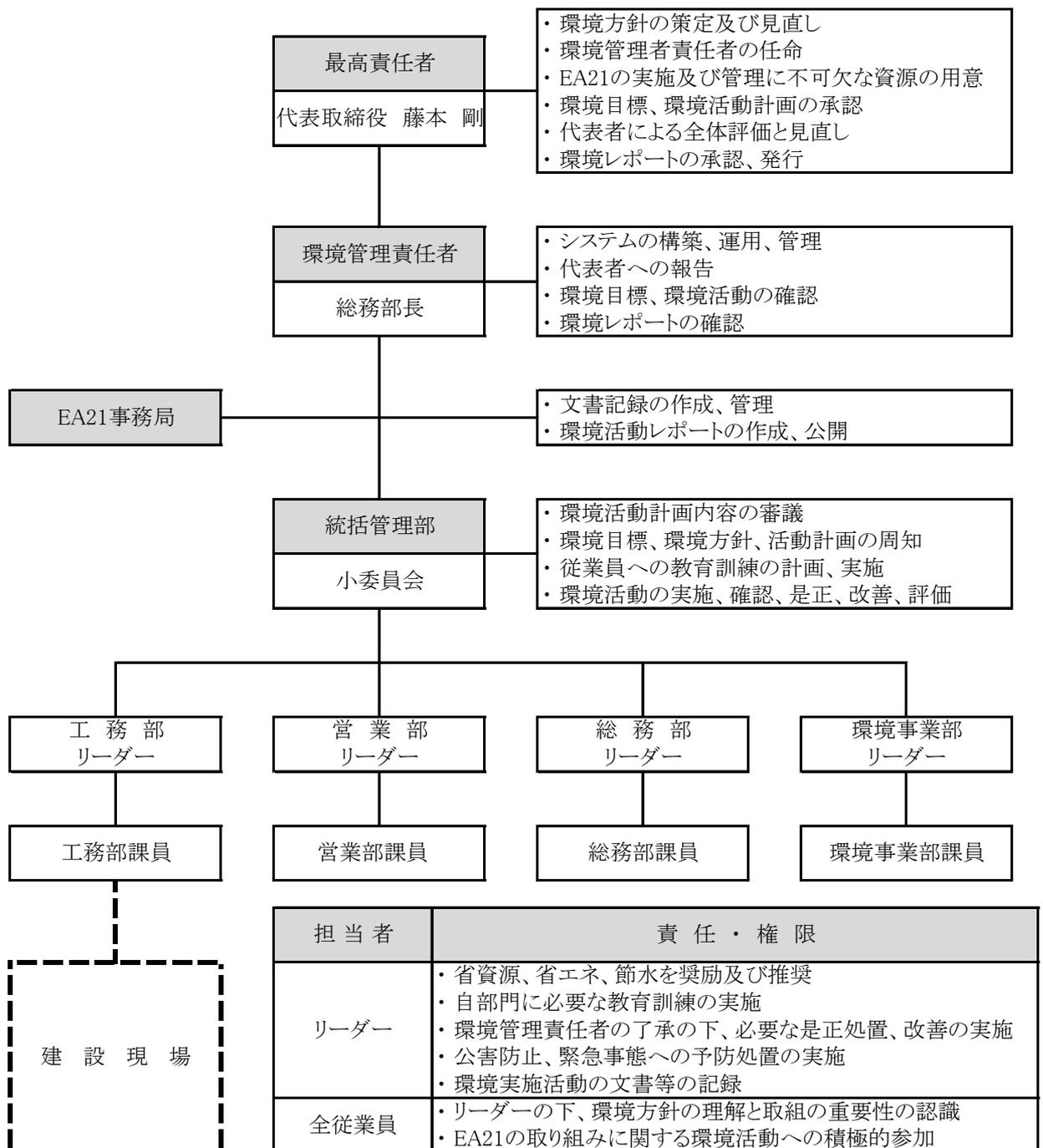
本社及び全事業所における業務並びに従業員を対象とする。

< 本 社 > 静岡県静岡市駿河区南八幡町25番25号
TEL 054-289-6650 FAX 054-289-6616

< 中間処理場 > 静岡県焼津市八桶113番1
TEL 054-621-0010 FAX 054-621-0008

< BDF工場 > 静岡県焼津市八桶1丁目14番地11

◆実施体制図



環境経営方針

(基本理念)

当社は、建設業、廃棄物処理業としての事業活動を行う中で、環境に影響を与える立場であることを認識し、環境問題への対応を経営の重要事項としてとらえ、全社員一丸となって地球環境保全に努めます。

(行動指針)

1. 各事業所の環境に関連する対策として、次のことを推進します。
 - ① 地球温暖化防止として、省エネルギーを推進します。(二酸化炭素排出量の削減)
 - ② 環境汚染防止として、資源の有効利用を目指し、リサイクルを推進します。
 - ③ 節水に努めます。(水使用量の削減)
2. 近隣・地域の環境保全並びに、工場内の環境衛生のために最善の努力をします。
3. 環境関連法規制を遵守し、地域社会との調和に努めます。
4. 環境方針を達成するため、環境目標を設定し、全従業員で取り組みます。

2007年9月1日制定

エコライン株式会社

代表取締役社長 藤本 剛

環境目標

●基準年度については2016年度を基準値とした。

●基準年より、毎年▲0.5%を削減目標とする。

(1) 本社（総務・営業部）

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	電力	kwh	13,151	13,019	12,954	12,888
	ガソリン	ℓ	10,890	10,781	10,727	10,672
	総排出量	kg-co2	32,028	31,708	31,548	31,387
水使用量		m3	67	66	66	66
一般廃棄物		kg	706	699	695	692

(2) 本社（工務部）

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	電力	kwh	7,723	7,646	7,607	7,569
	ガソリン	ℓ	18,033	17,853	17,763	17,672
	総排出量	kg-co2	45,830	45,372	45,143	44,913
水使用量		m3	450	446	443	441
一般廃棄物		kg	1,140	1,129	1,123	1,117
産業廃棄物		t	4,546	4,501	4,478	4,455

(3) 中間処理場・BDF工場

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	電力	kwh	32,334	32,011	31,849	31,687
	ガソリン	ℓ	1,730	1,713	1,704	1,695
	LPG	kg	35	35	34	34
	軽油	ℓ	17,393	17,219	17,132	17,045
	総排出量	kg-co2	66,353	65,689	65,358	65,026
水使用量		m3	180	178	177	176
産業廃棄物中間処分量		t	1,309	1,296	1,289	1,283
産業廃棄物リサイクル率		%	64.4	65.0	65.4	65.7

(4) 総合計

項目		単位	基準年	目標値		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	電力	kwh	53,208	52,676	52,410	52,144
	ガソリン	ℓ	30,653	30,346	30,193	30,040
	LPG	kg	35	35	34	34
	軽油	ℓ	17,393	17,219	17,132	17,045
	総排出量	kg-co2	144,211	142,769	142,048	141,327
水使用量		m3	697	690	687	683
一般廃棄物		kg	1,846	1,828	1,818	1,809
産業廃棄物		t	4,546	4,501	4,478	4,455
産業廃棄物中間処分量		t	1,309	1,296	1,289	1,283
産業廃棄物リサイクル率		%	64.4	65.0	65.4	65.7

注)二酸化炭素排出量は、2012年度中部電力CO2排出係数0.513を使用。

環境活動計画

目的		活動内容	責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二酸化炭素の削減	購入電力の削減	不要照明の消灯	各部リーダー	→											
		空調機器の消し忘れ確認		→											
		通風活用・扇風機併用		→											
		更新時に省電力型機器・器具への移行		→											
		空調温度の適温化 (夏季:28℃、冬季20℃)		→											
		空調機器の定期清掃		→											
	クールビズ・ウォームビズの奨励	EA事務局	→												
	化石燃料の削減	エコドライブの励行・教育	各部リーダー	→											
		効率的ルートでの運行		→											
		車両メンテナンスの定期実施		月初	月初	月初	月初	月初	月初						
エコカー・コンパクトカーへの移行推進		→													
建設機械の適正管理 (点検・負荷等)		工務・環境 リーダー	→												
ガス給湯器の適正使用		環境部 リーダー	→												
水道使用量の削減	節水の掲示 (事務所・工場・工事現場)	総務部 リーダー	→												
	水道管の定期チェック (漏水防止)	各部リーダー	→												
	工事現場の計画的な粉塵対策 清掃使用時、効率的な使用	工務部 リーダー	→												
廃棄物の削減	総排出量の削減	建設廃材の分別の徹底	各部リーダー	→											
		再資源化率の向上		→											
		ビン・缶・ペットボトル等の分別の徹底 (事務所・工場)		→											
	紙類の使用量の削減	裏紙の再利用	全従業員	→											
		見直しによる印刷ミスの徹底		→											
ペーパーレス化の推進 (社内掲示板の利用)	各部リーダー	→													
グリーン購入	環境に配慮した事務用品等への転換	小委員会	→												
	省エネ性能の高い事務機器への移行	総務部 リーダー	→												
環境保全意識	環境教育の実施 (中途入社社員含む)	総務部 リーダー	→												
	環境方針への周知徹底 (各部会での啓蒙)	各部リーダー	→					→			→				→
	環境上の緊急事態への準備と対応 (訓練の実施)	EA事務局				→									
	協力業者へEA21取り組みの協力要請	工務部 リーダー				→									
地球環境	近隣住民に対して工事周知	工務部 リーダー	→												
	地域清掃活動への参加	EA事務局		→				→			→				→

環境目標の実績

- 目標達成状況 達成率 ○ 100%以上
 △ 100%未満～85%以上
 × 85%未満

(1) 本社（総務・営業部）

項目		単位	2019年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量	電力	kwh	12,888	8,929	144.3%	○
	ガソリン	ℓ	10,672	9,611	111.0%	○
	総排出量	kg-co2	31,387	26,512	118.4%	○
水使用量		m3	66	77	85.3%	△
一般廃棄物		kg	692	467	148.1%	○

(2) 本社（工務部）

項目		単位	2019年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量	電力	kwh	7,569	7,144	105.9%	○
	ガソリン	ℓ	17,672	14,660	120.5%	○
	総排出量	kg-co2	44,913	37,383	120.1%	○
水使用量		m3	441	663	66.5%	×
一般廃棄物		kg	1,117	373	299.4%	○
産業廃棄物		t	4,455	7,889	56.5%	×

(3) 中間処理場・BDF工場

項目		単位	2019年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量	電力	kwh	31,687	25,285	125.3%	○
	ガソリン	ℓ	1,695	2,383	71.1%	×
	LPG	kg	34	34	101.5%	○
	軽油	ℓ	17,045	27,427	62.1%	×
	総排出量	kg-co2	65,026	88,327	73.6%	×
水使用量		m3	176	325	54.3%	×
産業廃棄物中間処分量		t	1,283	1,343	95.5%	△
産業廃棄物リサイクル率		%	65.7	63.2	96.2%	△

(4) 総合計

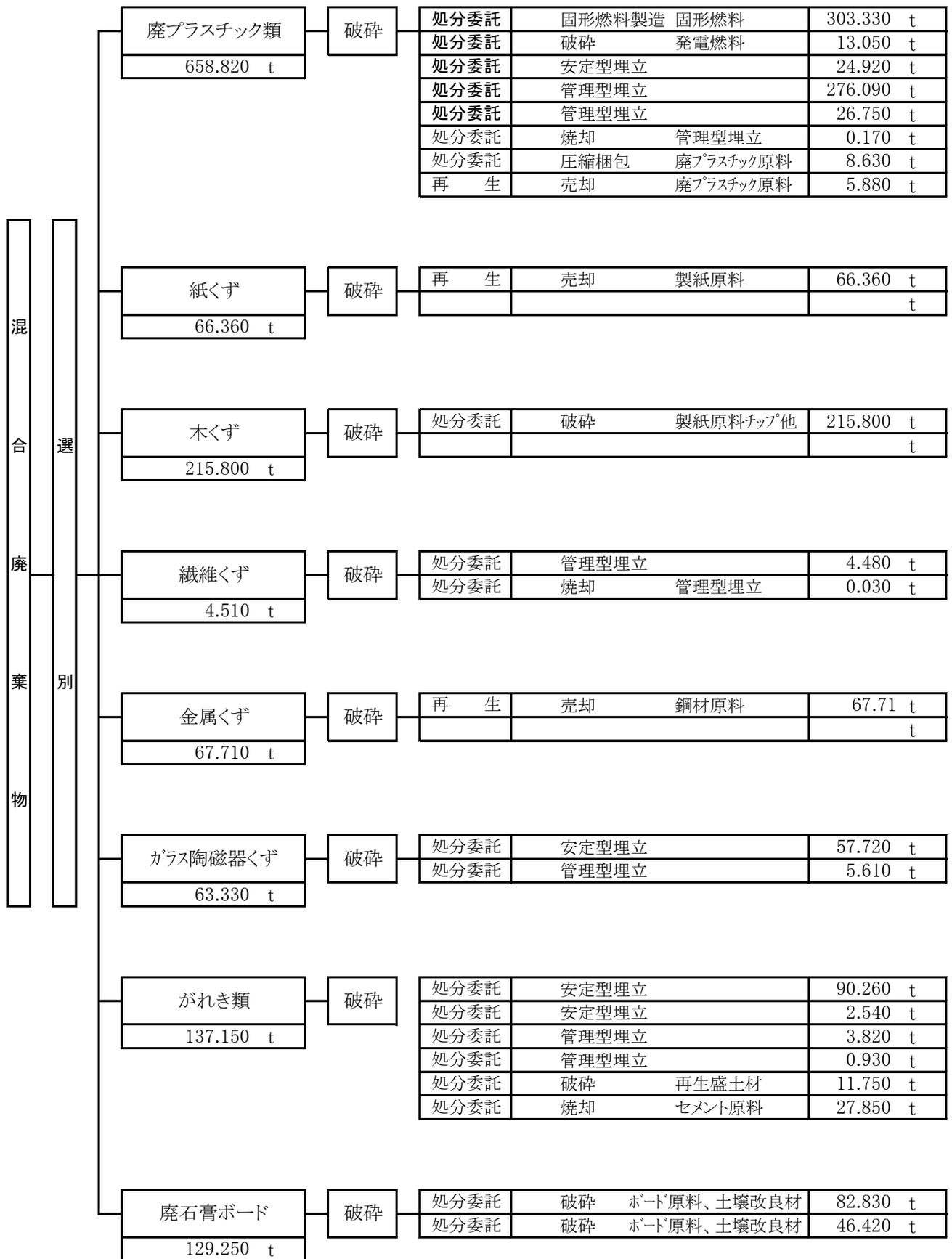
項目		単位	2019年度			
			目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量	電力	kwh	52,144	41,358	126.1%	○
	ガソリン	ℓ	30,040	26,654	112.7%	○
	LPG	kg	34	34	101.5%	○
	軽油	ℓ	17,045	27,427	62.1%	×
	総排出量	kg-co2	141,327	152,222	92.8%	△
水使用量		m3	683	1,065	64.1%	×
一般廃棄物		kg	1,809	841	215.2%	○
産業廃棄物		t	4,455	7,889	56.5%	×
産業廃棄物中間処分量		t	1,283	1,343	95.5%	△
産業廃棄物リサイクル率		%	65.7	63.2	96.2%	△

注)二酸化炭素排出量は、2012年度中部電力CO2排出係数0.513を使用。

◆産業廃棄物処理実績（多量排出事業者）

解 体 工 事	分 別	廃プラスチック類	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		103.204 t	47.148 t	56.056 t
		紙くず	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		0.130 t	0.130 t	0.000 t
		木くず	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		957.019 t	957.019 t	0.000 t
		繊維くず	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		12.566 t	10.063 t	2.503 t
		金属くず	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		2.287 t	2.287 t	0.000 t
		ガラス陶磁器くず	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		195.770 t	149.590 t	46.180 t
		がれき類	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		501.692 t	150.596 t	351.096 t
		コンクリート破片	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		5,656.166 t	5,656.166 t	0.000 t
		アスファルト・コンクリート破片	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		252.726 t	252.726 t	0.000 t
		廃石膏ボード	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量
		100.040 t	92.370 t	7.670 t
安定型建設混合廃棄物	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量		
1.820 t	1.040 t	0.780 t		
管理型建設混合廃棄物	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量		
96.736 t	54.444 t	42.292 t		
水銀使用製品産業廃棄物	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量		
0.532 t	0.000 t	0.532 t		
燃え殻	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量		
4.560 t	0.000 t	4.560 t		
廃酸	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量		
0.260 t	0.000 t	0.260 t		
廃石綿等	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量		
3.560 t	0.000 t	3.560 t		
全処理委託量	再生利用業者への委託量	最終処分業者への委託量		
7,889.068 t	7,373.579 t	515.489 t		

◆産業廃棄物処理フロー（中間処理場）



環境活動取り組み結果と評価

目的	活動内容	結果	評価・課題・次年度の取り組み	
二酸化炭素の削減	購入電力の削減	不要照明の消灯	○	活動項目については、各部リーダー中心に進められており、適正に運用できている。 忘れがちな空調機器の消し忘れだが、タイマー設定で自動OFFにより、消し忘れ防止を図っている。 老朽化していた複合機を省電力型機器に入替を行った。 本社事務所の空調温度を効率よく一定温度に保つため、夏季においては扇風機との併用プラスサーキュレーターの新設により配置を考慮し室内温度の均一化を図った。また、空調機器の室外機周辺の清掃を行い空気循環するようにした。 クールビズ、ウォームビズについては、恒例の行事としている。 次年度も取り組みを継続。
		空調機器の消し忘れ確認	○	
		通風活用・扇風機併用	○	
		更新時に省電力型機器・器具への移行	-	
		空調温度の適温化 (夏季:28℃、冬季20℃)	○	
		空調機器の定期清掃	○	
		クールビズ・ウォームビズの奨励	○	
	化石燃料の削減	エコドライブの励行・教育	△	エコドライブ運転・効率的ルート・車両メンテナンス等の実施については運転記録簿に記載し、各部リーダー中心に適正に運用できている。 燃費向上を目的に、ハイブリッド車の導入を2台行った。 化石燃料の使用量について、中間処理場の営業施策(遠方営業)により目標値を大幅に超えた。 廃棄物排出量との関係が直接影響するため、基準目標値の設定の見直しが必要である。 活動は、次年度も継続とする。
		効率的ルートでの運行	○	
		車両メンテナンスの定期実施	○	
エコカー・コンパクトカーへの移行推進		○		
建設機械の適正管理 (点検・負荷等)		○		
ガス給湯器の適正使用	○			
水道使用量の削減	節水の掲示 (事務所・工場・工事現場)	○	活動項目については、各部リーダー中心に運用できている。 節水掲示・水道管の定期チェック・現場での使用については安全パトロール時の点検項目としてチェックを行った。次年度も継続。 粉塵による近隣対策を徹底したことにより水使用量はオーバーしてしまっ。基準目標値の設定の見直しが必要である。	
	水道管の定期チェック (漏水防止)	○		
	工事現場の計画的な粉塵対策 清掃使用時、効率的な使用	△		
廃棄物の削減	総排出量の削減	建設廃材の分別の徹底	×	産業廃棄物の排出量については基準目標値を大幅に超え、再資源化率にも影響を及ぼした。 中間処理場の産業廃棄物リサイクル率を向上させるため、分別処理の徹底に力を入れていく。又、基準目標値の設定の見直しが必要である。
		再資源化率の向上	×	
		ビン・缶・ペットボトル等の分別の徹底 (事務所・工場)	○	
	紙類の使用量の削減	裏紙の再利用	○	活動項目は、実施されている。 ペーパーレス化の推進として、電子機器の購入とオンラインストレージの活用により、会議資料のペーパーレス化が図れてきている。次年度も継続。
		見直しによる印刷ミスの徹底	○	
グリーン購入	環境に配慮した事務用品等への転換	○	事務用品は、総務部リーダーを中心に環境配慮商品に移行している。今後もエコマーク商品の購入を継続的に実施する。活動項目は、次年度も継続。	
	省エネ性能の高い事務機器への移行	○		
環境保全意識	環境教育の実施 (中途入社社員含む)	○	活動項目は、各部リーダー中心に実施されている。 協力業者には、弊社の安全大会時にエコアクション21の環境理念と行動指針の説明時間を取り、取り組みへの理解と協力要請を行った。 緊急事態の対応として、消火訓練及び油流失対処訓練を実施。業者についても同様な取り組みへの理解と協力要請を行っていく仕組み造りが今後の課題である。活動項目は、次年度も継続。	
	環境方針への周知徹底 (各部会での啓蒙)	○		
	環境上の緊急事態への準備と対応 (訓練の実施)	○		
	協力業者へEA21取り組みの協力要請	○		
地球環境	近隣住民に対して工事周知	○	活動項目は実施されている。近隣には、事前に工事案内文の配布。防音・振動対策の実施。近隣地域とのコミュニケーションとして地域清掃活動への実施。次年度も引き続き継続。	
	地域清掃活動への参加	○		

環境関連法規等の遵守状況

法規・条例・規制	内 容	取組状況	遵守状況
建設業法	建設業の健全な発達の促進、公共の福祉の増進	静岡県知事の許可 5年に一度の更新 (平成30年更新)	○
建設リサイクル法	建設工事に係る資源の有効な利用と廃棄物の適正処理	分別解体・再資源化の実施 建設リサイクル法の届出状況	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	廃棄物排出の際の適正処理	産業廃棄物委託契約締結 マニフェスト管理・保管	○
産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物処理業者による不適切な処理の防止	産業廃棄物委託先の確認、運搬・処分状況の報告	○
下水道法	公共用水域の水質の保全	工事基準の遵守、各種手続きの適正処理	○
浄化槽法	浄化槽による適正な処理、生活環境の保全	浄化槽の定期的な保守点検の実施	○
騒音規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例・施工規則	作業内容・時間管理・特定作業の実施届出	○
振動規制法			○
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンを対象に使用済み家電のリサイクルを推進	家電リサイクル券の購入 適正処理	○
グリーン購入法	環境負荷の考慮	エコマーク表示商品の優先購入	○
消防法	消防設備の届出と点検と報告	消防設備の定期点検・火災訓練の実施	○
労働安全衛生法	労働者の安全と衛生管理	健康診断の定期実施、解体現場等の安全パトロールの実施	○
フロン排出抑制法	フロン類使用の合理化及び管理の適正化	定期点検の義務化・履歴の記録	○

違反・訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規について順守状況を点検した結果、上記の通り違反なく関係法規を遵守していることを確認しました。また、関係行政当局より違反等の指摘はなく、訴訟についてもありません。

代表者による全体評価と見直し

環境活動開始後、今年で12年を経過しました。ここ数年の環境活動において、軽油・ガソリン・水使用量は、増加傾向にあります。解体工事業において産業廃棄物収集運搬経路の増加、近隣対策での粉塵飛散防止等での散水処理等によるものが増加の要因となっております。

次年度においては、環境目標の実績結果を検証し、中長期的な基準目標値の見直しが必要と考えられます。

未達成の項目もありますが、継続は力となり、全従業員が環境活動に高い意識を持ち日常業務の中で主体的に取組を実践していることが感じ取られます。

事業活動において、環境に与える影響の大きい業界ではありますが、今後も活発に職場会議等での周知、意見交換等を行い、環境経営活動に取り組み、地元及び取引先からも信頼され、愛される企業をめざして頂きたい。

変更の必要性

環 境 方 針	変更の必要性はなし
環 境 目 標	変更の必要性あり
環境活動計画	変更の必要性はなし
環境関連法規	変更の必要性はなし

2020年7月19日

代表取締役社長 藤本 剛

環境活動状況(取り組み事例)

(1) 環境美化活動

開催日 2019年6月5日

内容 清掃活動

静岡市駿河区南八幡
周辺歩道の清掃



焼津市八楠
周辺水路の草刈り清掃

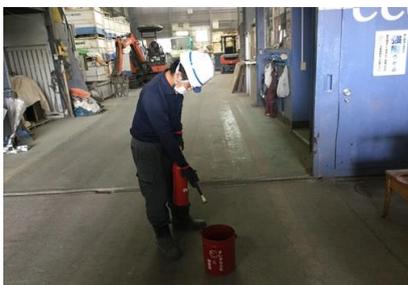


(2) 緊急事態対応訓練

開催日 2019年9月3日

内容 消火訓練活動

火災報知器の確認
緊急連絡先の確認
適切な使用法



開催日 2019年11月8日

内容 油流失対応訓練

備品保管場所の確認
吸着マットの使用実施



(3) 環境啓蒙活動

事務所

エコドライブ運転の推進

クールビズの推進

ウォームビズの推進



工場

エコドライブ運転の推進

廃棄物分別の徹底



事務所内(工場)の節水



サーキュレーターによる空気循環

エアコンの適正使用



現場での節水



環境活動計画 (次年度以降目標値)

- 基準年度については2018年度・2019年度の2年平均を基準値とした。
- 基準年より、毎年▲0.5%を削減目標とする。

(1) 本社 (総務・営業部)

項目	単位	基準年	目標値			
		2年平均	2020年度	2021年度	2022年度	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	9,805	9,756	9,707	9,658
		kwh/百万円	15.61	15.53	15.45	15.38
	ガソリン	ℓ	9,719	9,768	9,622	9,573
		ℓ/百万円	15.48	15.40	15.33	15.25
	総排出量	kg-co2	27,192	27,329	26,920	26,784
	kg-co2/百万円	43.30	43.08	42.87	42.65	
水使用量	m3	72	72	71	71	
	m3/百万円	0.11	0.11	0.11	0.11	
一般廃棄物	kg	521	524	516	513	
	kg/百万円	0.83	0.83	0.82	0.82	

(2) 本社 (工務部)

項目	単位	基準年	目標値			
		2年平均	2020年度	2021年度	2022年度	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	7,261	7,297	7,188	7,152
		kwh/百万円	11.56	11.50	11.44	11.39
	ガソリン	ℓ	16,728	16,812	16,561	16,477
		ℓ/百万円	26.64	26.51	26.37	26.24
	総排出量	kg-co2	42,264	42,476	41,841	41,630
	kg-co2/百万円	67.30	66.96	66.63	66.29	
水使用量	m3	630	633	624	621	
	m3/百万円	1.00	1.00	0.99	0.99	
一般廃棄物	kg	377	379	373	371	
	kg/百万円	0.60	0.60	0.59	0.59	
産業廃棄物	t	12,976	12,911	12,846	12,781	
	t/百万円	20.66	20.56	20.45	20.35	

(3) 中間処理場・BDF工場

項目	単位	基準年	目標値			
		2年平均	2020年度	2021年度	2022年度	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	27,348	27,485	27,075	26,938
		kwh/t	9.90	9.85	9.80	9.75
	ガソリン	ℓ	1,796	1,805	1,778	1,769
		ℓ/t	0.65	0.65	0.64	0.64
	LPG	kg	57	57	56	56
		kg/t	0.02	0.02	0.02	0.02
	軽油	ℓ	27,890	28,030	27,611	27,472
		ℓ/t	10.10	10.05	10.00	9.95
	総排出量	kg-co2	90,442	89,990	89,537	89,085
		kg-co2/t	32.75	32.59	32.42	32.26
水使用量	m3	305	307	302	300	
	m3/t	0.11	0.11	0.11	0.11	
産業廃棄物リサイクル率	%	51.0	51.3	51.5	51.8	
産業廃棄物中間処分量	t	4,821				

(4) 総合計

項目	単位	基準年	目標値			
		2年平均	2020年度	2021年度	2022年度	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	44,414	44,192	43,970	43,748
	ガソリン	ℓ	28,243	28,102	27,961	27,819
	LPG	kg	57	57	56	56
	軽油	ℓ	27,890	27,751	27,611	27,472
	総排出量	kg-co2	159,898	159,098	158,299	157,499
水使用量	m3	1,007	1,002	997	992	
一般廃棄物	kg	898	894	889	885	
産業廃棄物	t	12,976	12,911	12,846	12,781	
産業廃棄物リサイクル率	%	51.0	51.3	51.5	51.8	
産業廃棄物中間処分量	t	4,821				

注) 二酸化炭素排出量は、2017年度中部電力CO₂調整後排出係数0.472を使用。

環境活動計画(次年度)

目的		活動内容	責任者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
二酸化炭素の削減	購入電力の削減	不要照明の消灯	各部リーダー	→												
		空調機器の消し忘れ確認		→												
		通風活用・扇風機併用		→												
		更新時に省電力型機器・器具への移行		→												
		空調温度の適温化 (夏季:28℃、冬季20℃)		→												
	空調機器の定期清掃		→									→				
	クールビズ・ウォームビズの奨励	EA事務局								→						→
	化石燃料の削減	エコドライブの励行・教育	各部リーダー	→												
		効率的ルートでの運行		→												
		車両メンテナンスの定期実施		月初	月初	月初	月初	月初	月初	月初						
エコカー・コンパクトカーへの移行推進		→														
建設機械の適正管理 (点検・負荷等)		工務・環境 リーダー		→												
水道使用量の削減	ガス給湯器の適正使用	環境部 リーダー	→													
水道使用量の削減	節水の掲示 (事務所・工場・工事現場)	総務部 リーダー	→													
	水道管の定期チェック (漏水防止)	各部リーダー	→													
	工事現場の計画的な粉塵対策 清掃使用時、効率的な使用	工務部 リーダー	→													
廃棄物の削減	総排出量の削減	建設廃材の分別の徹底	各部リーダー	→												
		再資源化率の向上		→												
		ビン・缶・ペットボトル等の分別の徹底 (事務所・工場)		→												
	紙類の使用量の削減	裏紙の再利用	全従業員	→												
		見直しによる印刷ミスの徹底	→													
ペーパーレス化の推進 (社内掲示板の利用)	各部リーダー	→														
グリーン購入	環境に配慮した事務用品等への転換	小委員会	→													
	省エネ性能の高い事務機器への移行	総務部 リーダー	→													
環境保全意識	環境教育の実施 (中途入社社員含む)	総務部 リーダー	→													
	環境方針への周知徹底 (各部会での啓蒙)	各部リーダー		→					→			→			→	
	環境上の緊急事態への準備と対応 (訓練の実施)	EA事務局					→									
	協力業者へEA21取り組みの協力要請	工務部 リーダー				→										
地球環境	近隣住民に対して工事周知	工務部 リーダー	→													
	地域清掃活動への参加	EA事務局			→				→			→			→	